

YRS
ユアーズ



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第208号



トピックス

新年度を迎えて

令和6年にあたって

令和5年度中も、当施設の事業にご理解ご協力をたまわり心より感謝申し上げます。以下、令和5年度の実施状況、トピックスについてご報告します。

◆**通訳派遣・研修事業**: 派遣・紹介人数は、手話通訳11,630人(令和4年度:11,354人)、要約筆記1,395人(令和4年度:1,283人)、総合計13,025人(令和4年度:12,637人)となり、手話は前年比103%、要約は108%となりました。

区役所の窓口配置されている遠隔通訳の利用数は、計137件(令和4年度:147件)でした。

◆**通訳体制について**: 令和5年度の非常勤手話通訳者は令和4年度と同数の76人でした。新たに非常勤手話通訳者として雇用できた方々がいる一方で、経験の長い手話通訳者が退職され、実質増員になりませんでした。この傾向は今後も続くと思われ、通訳ニーズに対し安定的に対応可能な手話通訳者体制をどう維持していくか、今後の大きな課題です。

◆**養成事業への協力**: (一社)横浜市聴覚障害者協会(以下:横聴協)が実施する手話奉仕員及び手話通訳者養成、横浜市中途失聴・難聴者協会(以下:浜難聴)が実施する要約筆記者養成事業に協力しました。令和5年度登録試験の結果、手話9人、要約10人(手書き5人・パソコン5人)の方が合格されました。なお、横浜市要約筆記者登録試験とそれに付随する事業(試験対策講座)が、令和6年度から当施設の指定管理事業となります。

◆**聴覚障害者相談事業**: 令和5年度も、訪問による相談に積極的に取り組みました。「聞こえの相談」については、延べ76件(令和4年:61件)の相談に対応し、外部委員からのご意見を伺う運営委員会を1回、また相談利用者同士の交流を目的とした「聞こえの相談交流サロン」を2回開催しました。遠隔対応を含めた総相談対応件数は、1,423件(令和4年度1,607件)となりました。

◆**普及・啓発事業**: 出前講座については、介護保険事業所や民生委員・児童委員連絡会等に向けて周知をおこない、計13件のご依頼に対応しました。スポーツ事業課との共催「聴覚障害者対象健康学習会」については、これまでの3年間、ラポール上大岡のみで行ってきましたが、令和5年度は上大岡での2回に加え新横浜でも2回実施しました。また、本学習会参加者を対象に、学んだ内容の実践を目的とした「料理教室」(『ちゃちゃっとヘルシーご飯』)も開催しました。その他、若年層の手話学習者増を目的として地域の手話サークル訪問等にも取り組みました。

公式 LINE アカウント「らぼらいん(ID:@695zoiyr)」は、毎週火曜に動画を含む各種情報を定期発信している他、緊急のお知らせも随時発信しています。登録がまだの方は是非ご登録ください。

令和6年度は施設長が交代し、新採用の職員1人が仲間入りしました。新たな力を得て、職員一同、関係団体の皆さまと力を合わせ、各種事業に取り組んでまいります。なにとぞよろしくお願いいたします。



事業報告

令和6年度手話通訳者・要約筆記者 事業連絡会を開催しました

4月21日(日)の午後、標記連絡会をオンラインで開催しました。出席者は157人(オンライン参加者156人、来所者1人)でした。この連絡会は手話通訳者・要約筆記者と情提職員が、新年度の組織(通訳者・情提職員)体制、派遣事業に関する状況、研修計画、通訳業務に関する留意点を確認する場として、年度当初に実施しています。

横聴協の内田元久事務局長、浜難聴の須山優江会長のご挨拶後、派遣事業に関する令和5年度の国・神奈川県・横浜市の状況説明等を行いました。通訳業務に関する説明では、基本的な事項と特に留意してほしい点や遠隔手話通訳等について話し、研修事業では1年間の研修計画について説明を行いました。

新年度の通訳者体制は、手話通訳者160人(非常勤76人、登録84人)、登録要約筆記者76人です。今年度も引き続き、事業の円滑な運営に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

手話通訳者課題別研修「介護保険関係～多職種連携・協働場面での専門職の役割～」を行いました

2月3日(土)、横浜ラポールシアターにて、標記内容で研修を行い、76人の参加がありました。介護保険を利用する聴覚障害者は年々増加しています。介護保険関係の通訳はデイサービス、ヘルパー、訪問看護、訪問リハビリ、往診など内容が多岐に渡り、多職種の支援者との連携が不可欠です。研修では、ケアマネジャーの伊藤講師(横浜市非常勤手話通訳者)から「介護保険制度」の概要をお話いただきました。また、看護師の小松講師(横浜市登録手話通訳者)からは、医療従事者として医療通訳場面での課題や、手話通訳者とどのように連携していくかの展望についてお話いただきました。手話通訳者の役割や専門職同士としての連携について改めて考える機会となり、有意義な時間となりました。



研修では、ケアマネジャーの伊藤講師(横浜市非常勤手話通訳者)から「介護保険制度」の概要をお話いただきました。また、看護師の小松講師(横浜市登録手話通訳者)からは、医療従事者として医療通訳場面での課題や、手話通訳者とどのように連携していくかの展望についてお話いただきました。手話通訳者の役割や専門職同士としての連携について改めて考える機会となり、有意義な時間となりました。

横浜市立ろう特別支援学校の生徒が見学に来ました！

2月19日(月)に横浜市立ろう特別支援学校高等部3年生の生徒11人が当施設を見学に来ました。高等部卒業後に生徒自ら当施設事業(通訳派遣・相談)利用ができるように、説明だけではなく、ロールプレイも行いました。生徒さんからは、イベントに参加する時の手話通訳派遣申し込み方法、要約筆記依頼時に準備するものなど、積極的な質問がありました。最後に、OBでもある横聴協事務局長の内田さんから温かいエールを頂き、終了となりました。

これからの新しい生活の中で、必要な時には、ぜひこの日の事を思い出して、通訳派遣や相談を利用していただければ嬉しく思います。今後のご活躍を応援しています。

出前講座報告

3月6日(水)、新杉田地域ケアプラザより依頼を受けて、当施設職員を派遣しました。生活支援コーディネーターや地域活動交流コーディネーターなどを担っている方が参加しました。主に聴覚障害者対応のポイントや、コミュニケーション方法のコツを中心に講演しました。筆談するとき気を付けることや簡単な手話を覚えてもらったほか、手話ができなくてもできるコミュニケーション方法なども実践しながら進めました。

新杉田地域ケアプラザは、聴覚障害者の利用が多いとのことで、今回の講座をきっかけにコミュニケーションがスムーズになると嬉しく思います。

令和5年度は13件の出前講座に講師を派遣しました。引き続き令和6年度も講師を派遣します。出前講座に興味のある方は普及・啓発担当までお問い合わせください。

普及・啓発担当宛 rapo-keihatsu@yokohama-rf.jp



新杉田地域ケアプラザでの出前講座の様子



コミュニケーションのポイントを説明しているところ

参加報告

災害関連の行事に参加しました

3月7日(木)に新横浜駅周辺で行われた「新横浜駅周辺混乱防止対策訓練」に参加しました。鉄道事業者や一時滞在施設関係者、駅周辺事業者、消防団、警察など多くの関係者が参加しました。また、帰宅困難者として、自治会・町内会会員のほか当施設の聴覚障害支援員2人や、横浜市身体障害者団体連合会の当事者も参加し、駅構内で震災が発生したという設定で、初動・避難誘導・情報ステーション設置など幅広い訓練が行われ、聴覚障害者は筆談を依頼したり、音声認識アプリで情報を得たりしました。



3月10日(日)、横聴協主催の「災害対策部主催防災フォーラム」(ラポールボックス)に、聴覚障害支援員2人が参加しました。元日に発生した能登半島地震へ、支援のため派遣された横浜市職員と震災発生当日から支援活動をされた企業社員から、それぞれ困難な被災状況での支援活動についての報告があり、遠隔通訳ツールを使っての災害現場との通訳状況の動画やデモがありました。

今回の訓練やフォーラムへの参加により、当施設職員だけでなく、地域の関係者が障害のある人たちへの情報提供のあり方や災害への備え等を考えるきっかけになったと思います。窓口業務に携わる関係者は、日常会話レベルの手話を身に付けておくといざというときにも役に立つと実感しました。

～ 職員の異動がありました ～

【退職者】

3月31日付 竹内 恵子(たけうち けいこ) : 聴覚障害支援員 施設長
伊藤 聖子(いとう せいこ) : 聴覚障害支援員 相談事業担当
井出 敬子(いで けいこ) : 非常勤職員 受付・遠隔通訳担当
高橋 ひなた(たかはし ひなた) : 非常勤職員 聞こえの相談担当

4月1日付 本間 裕貴子(ほんま ゆきこ) : 施設長昇任
【新採用】 竹内 恵子(たけうち けいこ) : 聴覚障害支援員 派遣事業担当 (再雇用)
佐々木 真理(ささき まり) : 聴覚障害支援員 相談事業担当
村田 由佳菜(むらた ゆかな) : 非常勤職員 派遣事業担当
水藤 みつみ(すいとう みつみ) : 非常勤職員 受付・遠隔通訳担当



(令和5年度)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	R4年度	相談事業	実件数	延べ件数
医療・保健	5,628	87	5,715	5,505	医療	104	243
司法	30	2	32	44	職業	45	92
教育・保育	854	10	864	819	教育	1	2
労働・雇用	517	68	585	575	住宅	37	107
社会生活	1,101	76	1,177	1,122	生活	265	531
自己啓発	208	119	327	241	福祉	182	342
福祉推進	1,130	1,016	2,146	2,364	法律	20	30
介護保険	2,076	8	2,084	1,927	聞こえ	72	76
他都市	86	9	95	40	合計	726	1,423
合計	11,630	1,395	13,025	12,637	R4年度	931	1,607
R4年度	11,354	1,283	12,637				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作 ()はR4年度

手話研修	回数	28(26)	参加人数	823(1,093)	自主制作作品数	65(66)
筆記研修	回数	28(29)	参加人数	557(596)		

■遠隔手話通訳事業

■普及・啓発事業

区	件数	区	件数	区	件数	派遣先	派遣件数	参加人数
鶴見	2	西	2	栄	49	企業等	2	97
神奈川	8	南	0	旭	1	教育関係	2	17
港北	0	港南	7	戸塚	12	介護関係団体	12	299
緑	1	金沢	2	瀬谷	1	聴覚障害者団体	3	335
都筑	12	磯子	9	泉	5	その他	9	384
青葉	0	中	5	保土ヶ谷	17	合計 (R4年度)	28 (34)	1,132 (1,002)
				市庁舎	4			
件数合計				137 (147)				

■視聴覚機器の貸出

物品名	保有数	貸出件数	物品名	保有数	貸出件数
スクリーン	6	65	OHC	5	85
ヒアリンググループ	2	2	ブルーレイディスクレコーダー	1	6
液晶プロジェクター	7	128	PC文字通訳用機器	4	283
テープレコーダー	3	24	PC文字通訳用機器個人用	2	41
ビデオカメラ	1	12	合計(R4年度)		646 (575)



3月

- 1 横浜市立ろう特別学校高等部 卒業証書授与式出席
- 5 横聴協との合同会議
- 5 手話試験委員会(横聴協)
- 6 出前講座(新杉田ケアプラザ)
- 6 特殊検診医療機関訪問
- 7 要約筆記者養成説明選考会(浜難聴)
- 7 新横浜駅周辺混乱防止対策訓練
- 10 災害対策部主催防災フォーラム(横聴協)
- 12 休館日・視聴覚機器点検

- 21 日本財団との打合せ(オンライン)
- 21 通訳者説明会(非常勤関係:オンライン)
- 22 主管課定例会議
- 25 衛生委員会
- 26 災害対策市域委員会会議
- 27 情提協議会理事会(オンライン)
- 27 区役所配置説明会(オンライン)
- 29 退職者辞令交付式

4月

- 1 新採用職員辞令交付式
- 1~5 新採用職員研修(事業団)
- 5 新採用職員配属
- 5 アステムとの打合せ(オンライン)

- 8~9 新採用職員研修(ラポール)
- 8 横浜市立ろう特別支援学校入学式出席
- 9 視聴覚機器点検
- 9 ラポール職員研修
- 21 新登録通訳者オリエンテーション(オンライン)
- 21 通訳者事業連絡会(オンライン)
- 23 要約筆記者登録1年次研修
- 26 情提協議会臨時理事会(オンライン)
- 22 衛生委員会
- 25 主管課定例会議
- 30 要約筆記者登録1年次研修

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和6年4月30日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>